



平成18年1月期

第1四半期業績の概況(連結)

平成17年6月6日

上場会社名 ピジョン株式会社

(コード番号: 7956 東証第1部)

(URL <http://www.pigeon.co.jp/>)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 松村 誠一

責任者役職・氏名 執行役員経営企画本部 I R室担当 大藪 克実 TEL (03) 3252 - 4113

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無
 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成18年1月期第1四半期の業績状況(平成17年2月1日～平成17年4月30日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況 (注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

	売上高	営業利益	経常利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %
18年1月期第1四半期	10,094 (8.7)	573 (21.7)	552 (15.0)
17年1月期第1四半期	9,290 (15.2)	470 (12.3)	480 (41.9)
(参考) 17年1月期	40,719	2,714	2,621

	四半期(当期)純利益	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	百万円 %	円 銭	円 銭
18年1月期第1四半期	336 (0.1)	16.86	16.85
17年1月期第1四半期	336 (285.8)	16.81	16.76
(参考) 17年1月期	1,494	74.22	74.10

(注) 売上高、営業利益、経常利益、四半期(当期)純利益におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率です。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年1月期第1四半期	35,260	19,193	54.4	972.66
17年1月期第1四半期	36,187	18,844	52.1	939.08
(参考) 17年1月期	34,382	19,997	58.2	989.43

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
18年1月期第1四半期	247	297	256	2,492
17年1月期第1四半期	1,062	2,943	1,776	3,118
(参考) 17年1月期	4,286	2,850	1,881	2,768

3. 平成18年1月期の連結業績予想(平成17年2月1日～平成18年1月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	20,900	1,350	700
通期	42,700	3,000	1,650

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 83円61銭

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的状況等]

当連結会計年度は、「企業価値の創造 21」をテーマとした「21C 第二次中期経営計画」の初年度となります。前中期経営計画ではグループ事業体制の構築と資産効率の面では初期の目標を達成いたしました。利益面では新たな課題を残す結果となりました。このような反省を踏まえて、コア事業である国内の育児用品事業は独自性と競争優位性を強化し、さらに成長分野である子育て支援事業、海外事業、ヘルスケア事業へは積極的な事業展開を図ることでグループのシナジーと結束力を発揮し、企業価値の最大化に努めてまいります。

当第 1 四半期（平成 17 年 2 月 1 日から平成 17 年 4 月 30 日）の売上高は海外事業と子育て支援事業の業績が順調に推移したことから、100 億 94 百万円（前年同期比 8.7%増）となりました。一方、利益につきましては売上原価が前年同期比で 0.4 ポイント上昇したものの、販売費及び一般管理費の効果的活用により営業利益は 5 億 73 百万円（前年同期比 21.7%増）、経常利益 5 億 52 百万円（前年同期比 15.0%増）、第 1 四半期純利益は 3 億 36 百万円（前年同期比 0.1%増）となりました。

事業の種類別セグメントの概況は以下のとおりです。

「育児」の国内育児用品事業におきましては出生数の減少という厳しい環境の中にあっても、生活者に喜ばれる新商品の積極的な投入を図りました。具体的には野菜など不足しがちな健康食材をおいしく手軽に摂れる、お子さまの体を考えた 200ml のベビー飲料を 5 種類新発売し、生活者から高い評価をいただいております。今後の需要期に向け積極的な販売活動を図ってまいります。

子育て支援事業においては 4 月より「大田区立東蒲田保育園」の運営を受託し、事業所内保育園においてはヤマハ発動機株式会社の「わいわいランド」を受託するなど、公設民営化の規制緩和や事業所内保育園の受託に関して、業界での競争優位性を発揮し、順調に業容を拡大いたしました。

海外事業においては中国、北米、ヨーロッパを中心に順調に業績を伸ばしております。特に中国はこれまでの沿岸部の大都市から地方都市への市場拡大に向けた販売促進活動や積極的な営業活動を展開し、ピジョンブランドの浸透と売上拡大に努めました。

「ヘルスケア」においては、連結子会社である多比良株式会社の経営資源を有効活用することと、栃木県下で事業展開しているピジョン真中株式会社の在宅介護支援サービスの事業拡大を図ることにより、ヘルスケア事業全体の売上拡大を図ってまいりました。

「その他」においては、マタニティ向けインナーウェアを販売する連結子会社のピジョンウィル株式会社は赤ちゃん専門店と通信販売での業績が好調で前年実績を上回りました。

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

当第 1 四半期末の総資産は、352 億 60 百万円となりました。流動資産は、たな卸資産等が増加したこと等により 166 億 4 百万円となりました。また、固定資産は、186 億 56 百万円となりました。

負債につきましては、短期借入金等の増加により 156 億円 85 百万円となりました。また、株主資本は 191 億 93 百万円となり、この結果、株主資本比率は 54.4%となりました。

(連結キャッシュ・フロー)

当第 1 四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは、法人税等の支払額の増加等により 2 億 47 百万円の減少となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産および無形固定資産の取得等により 2 億 97 百万円の減少となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、自己株式の取得による支出があったものの短期借入金の借入および返済による資金の増加等により 2 億 56 百万円の増加となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第 1 四半期末残高は、前連結会計年度末より 2 億 75 百万円減少し、24 億 92 百万円となりました。

第1四半期連結(要約)貸借対照表

(注)千円未満切捨て

期 別 科 目	前第1四半期		当第1四半期		前連結会計年度	
	(平成16年4月30日現在)		(平成17年4月30日現在)		(平成17年1月31日現在)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比
(資産の部)		%		%		%
流動資産	16,772,465	46.3	16,604,066	47.1	15,744,917	45.8
固定資産	19,415,516	53.7	18,656,443	52.9	18,637,604	54.2
1.有形固定資産	13,542,286		13,289,455		13,299,140	
2.無形固定資産	1,477,884		3,240,366		3,170,832	
3.投資その他の資産	4,395,346		2,126,622		2,167,631	
資産合計	36,187,982	100.0	35,260,510	100.0	34,382,522	100.0
(負債の部)						
流動負債	12,998,111	35.9	13,798,134	39.1	11,119,426	32.3
固定負債	4,007,406	11.1	1,887,625	5.4	2,878,977	8.4
負債合計	17,005,518	47.0	15,685,760	44.5	13,998,404	40.7
(少数株主持分)						
少数株主持分	338,174	0.9	381,224	1.1	386,383	1.1
(資本の部)						
資本合計	18,844,289	52.1	19,193,525	54.4	19,997,734	58.2
負債、少数株主持分 及び資本合計	36,187,982	100.0	35,260,510	100.0	34,382,522	100.0

第1四半期連結(要約)損益計算書

(注)千円未満切捨て

期 別 科 目	前第1四半期		当第1四半期		前連結会計年度	
	(自平成16年2月1日 至平成16年4月30日)		(自平成17年2月1日 至平成17年4月30日)		(自平成16年2月1日 至平成17年1月31日)	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	百分比
売上高	9,290,117	100.0	10,094,609	100.0	40,719,607	100.0
売上原価	5,721,785	61.6	6,253,960	62.0	25,047,358	61.5
売上総利益	3,568,332	38.4	3,840,648	38.0	15,672,248	38.5
販売費及び一般管理費	3,097,647	33.3	3,267,632	32.3	12,957,900	31.8
営業利益	470,685	5.1	573,016	5.7	2,714,348	6.7
営業外収益	113,598	1.2	70,395	0.7	339,377	0.8
営業外費用	104,121	1.1	91,402	0.9	431,898	1.1
経常利益	480,162	5.2	552,010	5.5	2,621,827	6.4
特別利益	150,667	1.6	50,230	0.5	168,519	0.4
特別損失	19,182	0.2	4,300	0.1	177,145	0.4
税金等調整前第1四半期 (当期)純利益	611,647	6.6	597,939	5.9	2,613,202	6.4
法人税、住民税及び事業税	403,299	4.3	201,660	2.0	980,197	2.4
法人税等調整額	160,504	1.7	40,834	0.4	46,829	0.1
少数株主利益	32,477	0.4	18,723	0.2	91,436	0.2
第1四半期(当期)純利益	336,375	3.6	336,720	3.3	1,494,738	3.7

第1四半期連結(要約)キャッシュ・フロー計算書

(注)千円未満切捨て

科 目	期 別	前第1四半期	当第1四半期	前連結会計年度
		(自平成16年2月1日 至平成16年4月30日)	(自平成17年2月1日 至平成17年4月30日)	(自平成16年2月1日 至平成17年1月31日)
		金 額	金 額	金 額
・ 営業活動によるキャッシュ・フロー		1,062,800	247,982	4,286,288
・ 投資活動によるキャッシュ・フロー		2,943,284	297,185	2,850,626
・ 財務活動によるキャッシュ・フロー		1,776,351	256,135	1,881,853
・ 現金及び現金同等物に係る換算差額		1,464	13,436	9,219
・ 現金及び現金同等物の増減額		105,597	275,596	455,411
・ 現金及び現金同等物の期首残高		3,223,703	2,768,291	3,223,703
・ 現金及び現金同等物の第1四半期(当期)末残高		3,118,105	2,492,695	2,768,291